

取扱説明書



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.17））をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 ディスプレイ

現在のメモリーの番号や、さまざまな情報が表示されます。



2 [MEMORY] つまみ

MEMORY (つまみを回す)

つまみを回してメモリー (1 ~ 128) を切り替えることができます (P.7)。

つまみを押しながら回すと、値を大きく増減させることができます。

ENTER (つまみを押す)

つまみを押すと、設定を確定したりすることができます。

3 [1] ~ [3] つまみ

画面に表示されているパラメーターの値を設定します。

つまみを押しながら回すと、値を大きく増減させることができます。

4 [MENU] ボタン

メニュー画面が表示されます。

5 [EXIT] ボタン

元の画面に戻ります。画面によっては、実行中の機能を中断します。

誤操作を防ぐ (パネル・ロック)

[EXIT] ボタンの長押しで、つまみとボタンの操作を有効 (アンロック) にするか／無効 (ロック) にするかを切り替えることができます。

ロック中に操作をすると、ディスプレイに「LOCKED」と表示されます。

メモ

[MENU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押すと WRITE UTILITY 画面が表示され、メモリーの保存や入れ替え、イニシャライズができます (P.7)。

6 [D. LEVEL] つまみ

ダイレクト音の音量を調節します。

7 [E. LEVEL] つまみ

エフェクト音 (シンセ音) の音量を調節します。

8 [VARIATION] つまみ

タイプで選んだ音色のバリエーションを選びます。

9 タイプつまみ

シンセ音の種類 (タイプ) を切り替えます。

タイプ	説明
LEAD	ソロやリードに適したサウンドです。
PAD	音の隙間を埋めるやわらかいサウンドです。
STRING	シンセ・ストリングス・サウンドです。
BELL	金属的な響きのサウンドです。
ORGAN	オルガン・サウンドです。

各部の名称とはたらき

タイプ	説明
BASS	ベース・シンセ・サウンドです。
DUAL	厚みのあるサウンドです。
SWEEP	揺れを特徴とするサウンドです。
NOISE	ノイズ・サウンドです。
SFX	効果音やクセのある音色です。
SEQ	ピッチや音質がリズムカルに変化する音色です。
ARPEGGIO	アルペジオのフレーズが演奏されます。

10 [ON/OFF] スイッチ

エフェクト（シンセ音）をオン／オフします。

11 [MEMORY/CTL 1] スイッチ

メモリーを切り替えます（P.7）。

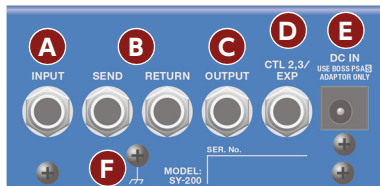
長押しすると [CTL 1] スイッチになります。

メモ

フットスイッチの機能は「FUNCTION」（ON/OFF FUNCTION/CTL FUNCTION）で、切り替えることができます。

リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞って、すべての機器の電源を切ってください。



A INPUT 端子

ギター、ベースやエフェクターを接続します。

電源を入れる／切る

INPUT 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

- ※ 正しく接続したら (P.4)、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

ギター・アンプなどの電源を最後に入れてください。

電源を切るとき

ギター・アンプなどの電源を最初に切ってください。

B SEND (センド) / RETURN (リターン) 端子

SEND 端子から外部エフェクターに信号を送り、RETURN 端子で外部エフェクターの信号を受け取ります。

SEND/RETURN の機能は「SEND/RETURN」で、切り替えることができます。

C OUTPUT 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

D CTL 2, 3/EXP 端子

CTL 2/3 端子として使う

フットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、いろいろな機能を割り当ててコントロールできます (P.9)。

EXP 端子として使う

エクスプレッション・ペダル (別売: EV-30、Roland EV-5 など) を接続して、シンセ音の音量や音質などをコントロールすることができます (P.12)。

- ※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

E DC IN 端子

AC アダプター (別売: PSA-100S) を接続する端子です。

- ※ AC アダプターは、必ず指定のもの (別売: PSA-100S) を、AC100V の電源で使用してください。
- ※ 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。

F 機能接地端子

- ※ 外部アースまたは大地に接地します。必要に応じて接続してください。

サイド・パネル



G MIDI 端子

TRS/MIDI コネクティング・ケーブル
(別売: BMIDI-5-35) で、外部 MIDI 機器に接続し
ます。外部 MIDI 機器を使って本機のメモリーを切り
替えることができます。

※ オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

H USB 端子

USB2.0 に対応した市販の USB ケーブルでパソコン
に接続します。

※ 充電専用のマイクロ USB ケーブルは使用しないでください。
データ通信ができません。

※ プログラム・アップデート専用です。

メモリーの保存／切り替え

メモリーに保存する

エディットした設定を保存することができます。

1. [MEMU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTLITY 画面が表示されます。
2. [1] つまみを押して、[WRITE] を選びます。
3. [1] つまみで保存先のメモリー (1 ~ 128) を選び、[MEMORY] つまみを押します。
ここで、名前を変更することができます。

操作子	動作
[1] つまみ	文字を変更します。
[2] つまみ	カーソル位置を変更します。
[3] つまみ	文字種を変更します。
[MENU] ボタン	一文字削除します。

4. [MEMORY] つまみを押します。
設定が保存されます。

メモリーを切り替える

保存したメモリーを呼び出します。

1. [MEMORY] つまみを回します。
[1 → 2 → 3 → 4 ...128] の順で変わります。

メモ

- [MEMORY] つまみを長押しすると、画面表示を切り替えることができます。

メモリー名を大きく表示



メモリー番号を大きく表示



- [MEMORY] つまみを押すとカーソルが移動し、テンポを変更できます。

メモリーの順番を入れ替える

保存されたメモリーの順番を入れ替えることができます。

1. [MEMORY] つまみで、入れ替え元のメモリーを選びます。
2. [MEMU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
3. [2] つまみを押して、「EXCHANGE」を選びます。
4. [1] つまみで、入れ替えるメモリーを選びます。
5. [MEMORY] つまみを押します。

手順 1 で選んだメモリーと、手順 4 で選んだメモリーが入れ替わります。

メモリーを初期化する

メモリーを標準的なセッティングにすること（初期化）ができます。最初から音色を作りたいときに便利です。

1. [MEMORY] つまみで、初期化するメモリーを選びます。
2. [MEMU] ボタンと [EXIT] ボタンを同時に押します。
WRITE UTILITY 画面が表示されます。
3. [3] つまみを押して、「INITIALIZE」を選びます。
メモリーが初期化されます。

各種設定をする (メニュー)

基本操作

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU モードになります。

2. [1] [2] [3] つまみを押して項目を選びます。

[MEMORY] つまみで項目のページを切り替えることができます。

3. [1] [2] [3] [MEMORY] つまみで、各項目の設定をエディットします。

4. [SYSTEM] (P.13)、[MIDI] (P.13)、[MIDI PC MAP] (P.14) 以外のパラメーターをエディットしたときは、「メモリーに保存する」(P.7) の操作をします。

※ この操作をしないと、メモリーを切り替えたときに失われます。

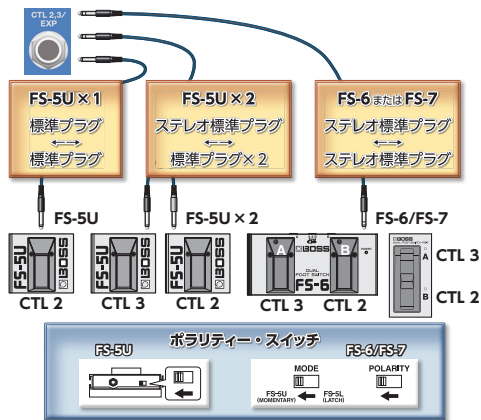
5. [EXIT] ボタンを押します。

MENU モードから抜けます。

外部ペダルに機能を割り当てる

CTL 2, 3/EXP 端子にフットスイッチ (別売: FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、テンポのタップ入力やメモリーを切り替えることができます。

メニューの「CTL FUNCTION」で設定します (P.11)。



各種設定をする(メニュー)

パラメーター一覧

ON/OFF FUNCTION

[ON/OFF] スイッチの機能を設定します。

パラメーター	設定値
FUNCTION	スイッチの機能を設定します。 • ON/OFF: エフェクト・オン/オフ • MEMORY: メモリーを切り替えます。 • MEM/ON: メモリーを切り替えます。スイッチを長押しすると、エフェクト・オン/オフの機能に切り替わります。

パラメーター	設定値
PARAM	スイッチの動作を設定します。 ON/OFF : • TOGGLE: 踏むたびに効果が切り替わります。 • MOMENT: 踏んでいる間だけ効果が切り替わります。 MEMORY : • INC: MEMORY EXTENT MIN/MAX の設定に従ってメモリー・ナンバーが増加します。 • DEC: MEMORY EXTENT MIN/MAX の設定に従ってメモリー・ナンバーが減少します。 • 1 ~ 128: 指定したメモリーに切り替えます。
PREF	• MEMORY: メモリーごとに設定を変えます。 • SYSTEM: 全メモリーで同じ設定にします。

CTL FUNCTION

[MEMORY/CTL 1] スイッチ、CTL 2, 3/EXP 端子に接続したフットスイッチの機能を設定します。

パラメーター	設定値
FUNCTION	スイッチの機能を選びます。 MEMORY : メモリーを選びます。 S.HOLD : サウンド・ホールド。弾いた音を持続させることができます。 PITCH : ピッチ・ベンド効果が得られます。 TAP : タップ・テンポ。スイッチを踏む間隔でテンポを設定できます。 TEMPO : BPM 値でテンポを変更します。 ON/OFF : エフェクト オン/オフ
PARAM 1	効果を設定します。 MEMORY : INC、DEC、1 ~ 128 PITCH : • -24 ~ 0 ~ +24 : ピッチ変化量を半音単位で設定できます。 TEMPO : • 40 ~ 250 : BPM 値を設定します。
PARAM 2	効果を調節します。 PITCH : • 0 ~ 100 : ピッチが変化する時間を調節します。

パラメーター	設定値
SW MODE	スイッチの動作を設定します。 • TOGGLE : 踏むたびに効果が切り替わります。 • MOMENT : 踏んでいる間だけ効果が切り替わります。 ※ FUNCTION が MEMORY、TAP のときは選べません。
PREF	• MEMORY : メモリーごとに設定を変えます。 • SYSTEM : 全メモリーで同じ設定にします。

メモ

[MEMORY/CTL 1] スイッチは、長押しで 2 つの機能を切り替える設定ができます。

MEM▲/HLD : メモリー増加/サウンド・ホールド
 MEM▲/PT : メモリー増加/ピッチ・ベンド
 MEM▲/TAP : メモリー増加/タップ・テンポ
 MEM▲/TMP : メモリー増加/テンポ (BPM)
 MEM▲/ON : メモリー増加/エフェクトのオン/オフ
 MEM▼/HLD : メモリー減少/サウンド・ホールド
 MEM▼/PT : メモリー減少/ピッチ・ベンド
 MEM▼/TAP : メモリー減少/タップ・テンポ
 MEM▼/TMP : メモリー減少/テンポ (BPM)
 MEM▼/ON : メモリー減少/エフェクトのオン/オフ

各種設定をする(メニュー)

EXP PDL FUNCTION

CTL 2, 3/EXP 端子に接続したエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。

パラメーター	設定値
FUNCTION	ペダルの機能を選びます。 OFF、TONE、RESONANCE、PITCH、RATE、TEMPO、DEPTH、E.LEVEL、D.LEVEL、MULTI • OFF : 動作しません。 • MULTI : [1] [2] [3] [D. LEVEL] [E. LEVEL] つまみの設定をエクスプレッション・ペダルでコントロールすることができます。 ※ [1] [2] [3] つまみに割り当てられている機能はメモリーごとに異なります。 ※ 「MULTI」は、PREF が MEMORY のときのみ表示されます。
MIN	最小値 (MIN) を設定します。
MAX	最大値 (MAX) を設定します。
PREF	• MEMORY : メモリーごとに設定を変えます。 • SYSTEM : 全メモリーで同じ設定にします。

MULTI の設定方法

1. [1] [2] [3] [D. LEVEL] [E. LEVEL] つまみで最低値 (MIN) を設定します。
2. [MEMORY] つまみを押します。
3. [1] [2] [3] [D. LEVEL] [E. LEVEL] つまみで最高値 (MAX) を設定します。
4. [MEMORY] つまみを押します。

SEND/RETURN

SEND/RETURN 端子の機能を設定します。

パラメーター	設定値
SEND/RETURN	• SEND : SEND 端子に出力する信号を選びます。 DIRECT、EFFECT ※ DIRECT を設定した場合は、RETURN の音量を [D. LEVEL] つまみで調節できます。EFFECT を設定した場合は、[E. LEVEL] つまみで調節できます。 • PREFERENCE : メモリーごとに SEND の設定を変えたい場合は MEMORY に設定してください。 MEMORY、SYSTEM

SYSTEM

パラメーター	設定値
MODE	ギター／ベースに適した設定に切り替えます。 GUITAR、BASS
EFFECT OUTPUT	再生機器に適した設定に切り替えます。ギターアンプやベースアンプをご使用の場合はAMPを、モニタースピーカーなどをご使用の場合はLINEを選びます。 AMP、LINE
DISPLAY CONTRAST	ディスプレイのコントラストを調節します。 1 ~ 16
MEMORY EXT MIN	選択可能なメモリーの下限 (MIN) / 上限 (MAX) を設定します。 1 ~ 128
MEMORY EXT MAX	※ [MEMORY] つまみはすべてのメモリーを選択可能。
EXP PDL HOLD	メモリーを切り替えたとき、EXP PEDAL のFUNCTION の操作状態が反映されるかされないかを設定します。 ON、OFF ※ EXP PDL FUNCTION の PREF が MEMORY のときに有効。

MIDI

パラメーター	設定値
RX CH	MIDI 受信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを受信しません。 1 ~ 16、OFF
TX CH	MIDI 送信チャンネルを設定します。 「OFF」に設定すると、MIDI メッセージを送信しません。「Rx」に設定すると、RX CH と同じチャンネルで送信します。 1 ~ 16、Rx、OFF
PC IN	プログラム・チェンジを受信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。 ON、OFF
PC OUT	プログラム・チェンジを送信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。 ON、OFF
CC IN	コントロール・チェンジを受信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。 CC を受信すると、つまみやフットスイッチと同じ操作をMIDIでコントロールできるようになります。 ON、OFF
CC OUT	コントロール・チェンジを送信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。 ON、OFF

各種設定をする(メニュー)

パラメーター	設定値
PARAM1 CC	
PARAM2 CC	
PARAM3 CC	
D.LEVEL CC	
E.LEVEL CC	
ON/OFF SW CC	各操作子に対応するコントローラー・ナンバーを設定します。
CTL1 CC	OFF、#1 ~ 31、#64 ~ 95
CTL2 CC	
CTL3 CC	
EXP CC	
EFFECT CC	
	どの入力のテンポ・クロックに同期させるかを設定します。
SYNC	INTERNAL ：内蔵テンポに同期します。 AUTO ：通常は内蔵テンポで動作しますが、MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 SY-200 をリモートにする場合は「AUTO」に設定します。
CLOCK OUT	内部クロックを出力させるかどうかを設定します。 ON、OFF

パラメーター	設定値
MIDI THRU	MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号を、そのまま MIDI OUT 端子から送信するか (ON) 送信しないか (OFF) を設定します。 ON、OFF

MIDI PC MAP

外部 MIDI 機器から送信されるプログラム・チェンジ情報でメモリーに切り替えるときに、SY-200 が受信したプログラム・チェンジ情報と切り替わるメモリーの対応を「プログラム・チェンジ・マップ」で自由に設定することができます。

パラメーター	設定値
PC#1 ~ PC#128	OFF、1 ~ 128 ：プログラム・ナンバーに対応するメモリー番号 (1 ~ 128) を設定します。 「OFF」に設定すると、エフェクトがオフになります。

工場出荷時の設定に戻す (ファクトリー・リセット)

SY-200 を工場出荷時の設定に戻すことができます。システム設定だけ、または一部のメモリーだけ戻すこともできます。「FROM」と「TO」で、初期化する範囲を決めます。

1. [MENU] ボタンを押します。

MENU モードになります。

2. 「FACTORY RESET」を選びます。

3. [1] [3] つまみを回して、初期化する範囲を設定します。

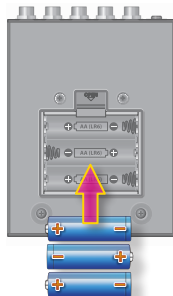
パラメーター	説明
FROM、TO	SYSTEM : システム・パラメーターの設定 001 ~ 128 : メモリーの設定

4. [MEMORY] つまみで「OK」を選び、[MEMORY] つまみを押します。

電池交換のしかた

図のように、向きに注意して電池を入れます。

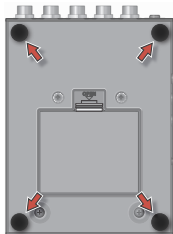
- ※ 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。
- ※ 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- ※ 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していないデータは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。『安全上のご注意』『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書）に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- ※ 電池駆動のときは、電池が消耗してくるとディスプレイに「BATTERY LOW」と表示されます。新しい電池と交換してください。



ゴム足の取り付け

ゴム足（付属）は、必要に応じて取り付けてください。
ゴム足は図の位置に貼り付けます。

- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ ゴム足を取り付けないまま本機を使用すると、床を傷つける恐れがあります。



主な仕様

電源	アルカリ電池（単 3 形）× 3、AC アダプター（別売）
外形寸法	101（幅）× 138（奥行）× 63（高さ）mm（ゴム足を除く） 101（幅）× 138（奥行）× 65（高さ）mm（ゴム足を含む）
質量	700g（電池を含む）
付属品	「取扱説明書の入手方法」チラシ 「安全上のご注意」チラシ アルカリ電池（単 3 形）× 3 ゴム足× 4 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100S フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスペディション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 MIDI/TRS コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35

※ $0\text{dBu} = 0.775\text{Vrms}$

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

https://roland.cm/sy-200_spec



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



- 付属品
ゴム足 (P.16)

接地端子の取り扱いに注意する

接地端子ネジは、お子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取りはずした状態で放置しないでください。再度ネジを取り付ける際は、ゆるみはずれがないように確実に取り付けてください。



修理について

- 修理を依頼される場合は、事前に記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はメモしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

知的財産権について

- 本製品には、第 3 者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2009-2017 ARM Limited. All rights reserved. Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");

You may obtain a copy of the License at
<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- Roland、BOSS は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1